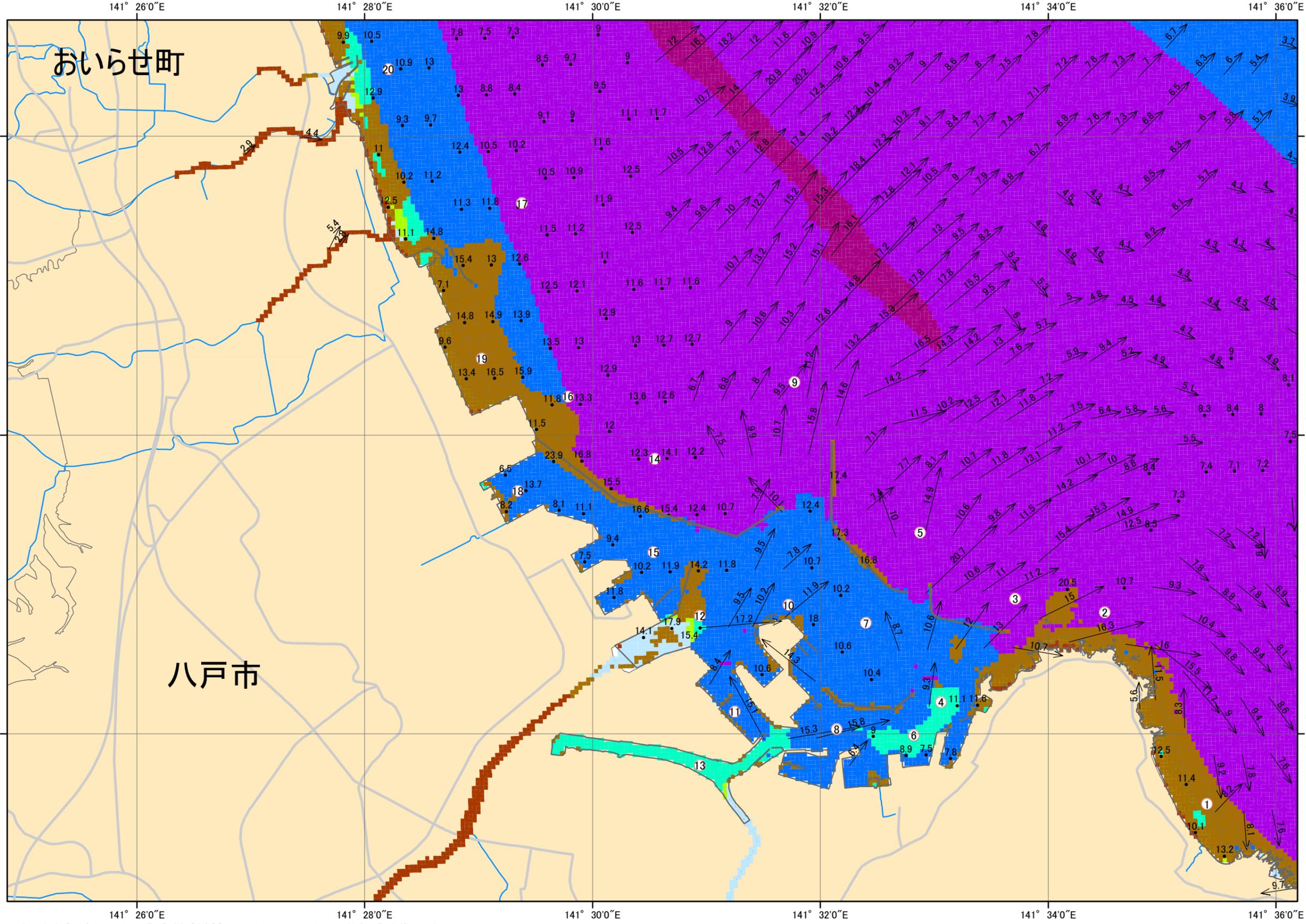




座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.72m (-0.66 ~ -0.77m)
Zo： 0.85m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



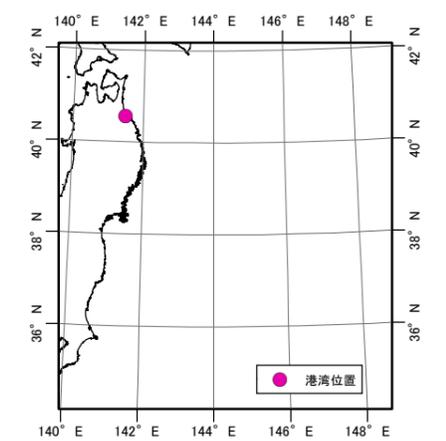
凡例

- 最大水位低下
 - 20~最大23.0m
 - 10~20m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

- 引潮時最大流 [knot]
- 12 knot
 - 8 knot
 - 4 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)地震

モーメントマグニチュード Mw	9.1
-----------------	-----

本断層モデルは内閣府の「日本海溝・千島海溝巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

作成機関： 海上保安庁
 防災情報図作成年月： 令和 3年 3月 (初版)
 地形データ作成年月： 令和 3年11月 (初版)

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))

